



天球儀（図2）

今回のキャンペーンで、最終的に得られた月の「立体」写真。撮影時刻は18時35分10秒。左が岡山県備前市で4秒露光で畠浩二が撮影したもの、右が群馬県立ぐんま天文台で8秒露光で田口光が撮影したもの。北が上にしてあるので交差法（左目で右の画像を、右目で左の画像を見る方法）で見ると、背景となる数個の恒星に対して、月が周囲の恒星より手前に飛び出して見えるはず（本文436ページ参照）。